

令和8年7月7日  
山梨県 森林環境部 自然共生推進課  
総括課長補佐 原川 理  
電話 055-223-1520 (内線 6501)

山梨県 農政部 農業技術課  
課長 佐々木 斉  
電話 055-223-1616 (内線 5350)

報道関係者各位

## 県内におけるクビアカツヤカミキリの初確認について

特定外来生物に指定されている「クビアカツヤカミキリ」が県内で初めて確認されました。

クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラ、モモ、スモモ、ウメなどの樹木の中に入り込み、内部を食い荒らすことで樹木を衰弱させたり、枯死の原因となることから、県民への注意喚起に御協力願います。

### 1 経緯

- 令和8年7月7日（火）、大月市駒橋地内（大月市立図書館付近）で、住民がカミキリムシの成虫を発見・捕獲し、個体を市立図書館に持ち込み。
- 市立図書館から県富士・東部林務環境事務所へ連絡があり、同事務所が個体を回収。その後、県の専門家が確認を行い、クビアカツヤカミキリと同定。

### 2 対応状況

- 富士・東部林務環境事務所及び大月市が発見場所の周辺調査を進めており、現在のところ、新たな個体や痕跡は発見されていません。

### 3 今後の対応

- 大月市及び関係機関と連携し、発見地点周辺の重点的な調査を継続します。
- モモ、スモモ、ウメ等の果樹への被害が懸念されることから、生産者及び関係団体に対して、果樹園での発生の確認について協力を呼びかけます。
- 県ホームページやチラシ等を活用し、県民や施設管理者に対し、発見した場合は県に通報するとともに、捕獲した場合はその場での駆除を依頼する等の呼びかけを行います。

### 4 注意事項

- クビアカツヤカミキリと思われる個体を見つけた場合は、発見場所の市町村または「5」に記載の県関係機関にご連絡ください。その際は、可能な範囲で写真を撮るなどして、発見日時、発見場所、発見時の状況をお知らせください。
- 探す手がかりは、成虫またはフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）です。
- クビアカツヤカミキリは、外来生物法で生きたまま持ち運ぶことは禁止されています。
- 土地管理者におかれては、成虫を発見したら殺虫剤等で駆除をお願いします。

## 5 情報提供先

発見場所が農地以外の際は最寄りの林務環境事務所、農地の際は農務事務所にご連絡ください。

|      |  |
|------|--|
| 農地以外 | 森林環境部自然共生推進課：055-223-1520<br>中北林務環境事務所：0551-23-3090、峡東林務環境事務所：0553-20-2739<br>峡南林務環境事務所：055-240-4140、富士・東部林務環境事務所：0554-45-7810 |
| 農地   | 農政部農業技術課：055-223-1635<br>中北農務事務所：0551-23-3291、峡東農務事務所：0553-20-2830<br>峡南農務事務所：055-240-4131、富士・東部農務事務所：0554-45-7832             |

(月曜日から金曜日の8時30分から17時15分まで(祝日を除く))

### 参考) クビアカツヤカミキリについて

#### 1 概要

- ・ 特定外来生物に指定されている昆虫で、幼虫がサクラ、モモ、ウメ、スモモなどの樹木の中に入り込み、内部を食い荒らすことで、樹木を衰弱させたり、枯死の原因となります。
- ・ 平成24年に国内で初めて確認されて以来、全国各地に拡大し、街路樹や果樹園で被害が発生しています。
- ・ 農林水産省のまとめによると、令和8年4月末現在、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県、兵庫県、徳島県の17都府県で発生が確認されています。

#### 2 特徴

- ・ 体長約2.5～4cm
- ・ 全身は光沢のある黒色
- ・ 胸部(首の部分)が赤色
- ・ 幼虫の食害により、木の根元に赤褐色のフラスが大量に排出される。



# 特定外来生物 クビアカツヤカミキリ 警戒中！！

～発見時には情報提供をお願いします～

●クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモなどの樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまう**特定外来生物(※)**です。

●山梨県では令和8年7月に発見されています。

被害を広げないためには早期に発見、駆除することが重要です。

※特定外来生物:もともとその地域にいなかった生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産物へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものとして外来生物法で指定された生物



発見したら発見場所の市町村又は  
県林務環境事務所までご連絡をお願いします

## 成虫の概要

体長  
2.5cm～  
4cm



胸部が赤い  
一対のトゲ状  
隆起

青みがかった  
光沢のある黒

成虫は5月末  
～8月に発生

## 特徴(フラス)

フラスとは、幼虫のフンと木くずが混ざった  
ものです。



量が多く地表に降り積もるように  
大量にたまることもある



- ・夏から秋に見られる
- ・2～5mmほどの太さ
- ・明るいオレンジから褐色

## 被害木の例



幼虫に  
食い荒らされた木



成虫は幹に  
細長い穴を  
あけて出てくる

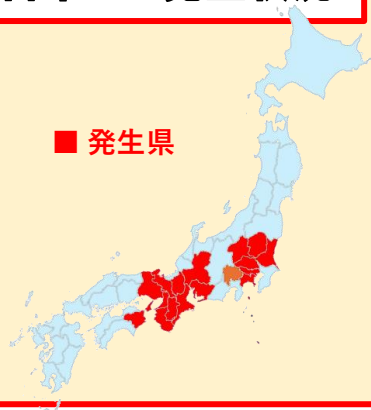
画像：埼玉県環境科学国際センター

山梨県 森林環境部 自然共生推進課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL:055-223-1520 FAX:055-223-1781

## 日本での発生状況



もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、平成24年に愛知県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

令和8年4月末までに17都府県で発生が確認されています。

**山梨県では令和8年7月に初確認されました。**

## クビアカツヤカミキリを見つけたら・・・

- ・探す手がかりは、**成虫またはフラス**です。
- ・発見した場所の**市町村または県林務環境事務所**までご連絡ください。
- ・クビアカツヤカミキリは、外来生物法で生きたまま持ち運ぶことは禁止されています。
- ・土地管理者におかれましては成虫を発見したら**殺虫剤、踏み潰す等で駆除をお願いします。**
- ・クビアカツヤカミキリの成虫・フラスと疑わしいものを発見した場合、可能な範囲で**写真を撮るなどして情報提供**をお願いします。

## 防除方法

- ①ネット巻き(5～8月)  
羽化して樹木から出てきた成虫を捕殺
- ②薬剤処理(4～9月)  
フラスが出ている穴に薬剤を注入して幼虫を駆除
- ③伐倒処分(11～3月)  
幼虫が休眠している時期に樹木ごと処分



## 発見時連絡先

中北林務環境事務所  
0551-23-3087

峡東林務環境事務所  
0553-20-2720

峡南林務環境事務所  
055-240-4140

富士・東部林務環境事務所  
0554-45-7810

発見した場所の市町村又は上記県林務環境事務所(環境・エネルギー課)までご連絡ください。

※農地で発見した場合は県農務事務所までご連絡ください。